

令和四年

新年の

ごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、町政全般にわたり、多大なご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大から、2年が経過しようとしております。しかし、まだ終息が見えず、新たな変異株「オミクロン株」による感染が全国で報告されております。昨夏の第5波で感染爆発したデルタ株と比べて、オミクロン株は感染力が強いと言われており、再び大きな感染拡大の波が生じる可能性があります。このため、町としましては、ワクチンの3回目接種を迅速に進め、町民の皆さまが安心して生活を送っていただけるよう全力

で取り組んでまいります。

これまで同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取り組みに対する、皆さま方のご理解ご協力をお願いいたします。

本町の出来事を振り返りますと、6月に「一般社団法人ニユーアグリベース（農業公社）」を設立し、地場産業の活性化や、生産性向上および事業承継などを支援できる体制が整備されました。11月には、宮崎トヨタグループが新富町文化会館の西側に令和5年の開業が予定されている「総合物流センター」の起工式が行われました。建設される施設は、南九州最大規模となる大型の整備・物流センターであり、これまで宮崎トヨタグループ各社で行っていた新車や中古車

の販売前の整備を担うものであります。今後、雇用創出や町の活性化に大きく貢献いただけるものとして、完成が待ち望まれます。

スポーツ面では、J3に初参入したテゲバジャール宮崎がユニリーバスタジアム新富で躍動した一年でした。最終戦まで優勝争いを繰り広げ、第3位の好成績でシーズンを終えたことは、町民の皆さまの応援の賜物であり、感謝申し上げます。さらに、町内に新たに設立された女子サッカーチーム「ヴィアマテラス宮崎」が、地域活動を行いながら、九州2部リーグを優勝し、また県内初の快挙であります皇后杯出場を果たしました。今季は九州1部リーグに戦いの場を移し、さらなる高みを目指します。より一層の活躍を願います。

い、町民の皆さまと一緒に応援していきたいと思っております。

さて、現在「第6次新富町長期総合計画」を策定しているところです。本計画は、令和4年度から令和13年度までの、町政の方向性を示す重要な計画であります。策定にあたっては、人口減少に歯止

めをかけるために策定している「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」とうまく融合させ、町民の皆さまがずっと住み続けたい、町外へ出て行った「子や孫たちが帰ってきたくなるまちづくり」を目指し、町民の皆さまからご意見を伺いながら策定しているところです。本計画の実行の際には、ご協力をお願いします。

今年の干支は、壬寅（みずのえとら）です。壬寅は、厳しい冬を越え、生命力にあふれた芽吹きを迎え、新しい成長の礎となる年と言われています。私の公約であります「子や孫たちが帰ってきたくなるまちづくり」の実現に向けて、町民の皆さまの付託に応えるよう町政運営に取り組んでまいります。

結びに、本年が皆さまにとって充実した素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。新型コロナウイルスの終息を願ひまして、新年のごあいさついたします。

令和4年元旦

新富町長 小嶋崇嗣

